

農林水産省北陸農政局福井県拠点からのお知らせ

北陸農政局福井県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに県内において、農林水産物の生産等に一生懸命取り組んでいる地域の皆様と意見交換を行い、その生産者や取り組みについて御紹介していくこととしています。御遠慮なく、お気軽に皆様の取り組みについて北陸農政局福井県拠点へご連絡ください。

今が旬の果物



「みかん」
こたつで食べたい

【情報(ご存じですか)】

MAFFアプリ

農林漁業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

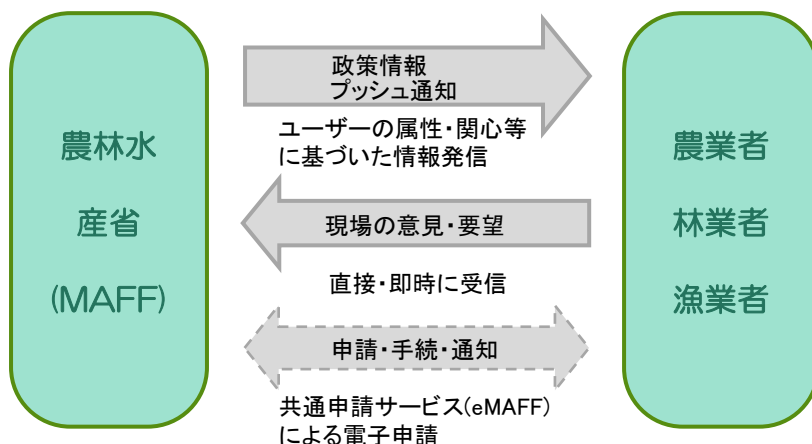
農林水産業に役立つ情報が直接届く。

現場の情報を直接届ける。



「MAFFアプリ」の主な機能

- ☆ 農業に役立つ情報を直接配信！
- ☆ 関心事項に応じた記事が届く！
- ☆ 大切な情報をプッシュ通知！
- ☆ 「マフちょく」で現場の情報を直接送付！
- ☆ 「eMAFF」でオンライン申請！



アプリのダウンロード
(無料)は農林水産
省HPに掲載しており
ます！



【福井県内の取組ご紹介】

「子実用とうもろこし」を新たな輪作作物として

(株) 徳長農園

福井県で標準的な2年3作(水稻、大麦、ソバ)を行っていたが、ソバの価格低迷と除草等の投下労働時間の拡大から他の作物への転換を検討していたところ、全国稲作経営者会議研修会で北海道での子実用トウモロコシの栽培事例が紹介されたことから2018年に試験的に栽培をはじめ、2023年には4.3haに拡大した。

播種機械はトラクターに、収穫機械は汎用コンバインに専用アタッチメントを装着し整備費を抑え、排水対策は暗渠排水のみとし、除草剤(2回)、殺虫剤(1回)をドローン等で行い省力化に取り組んでいる。

2023年の生産量を単収450kg/10aを見込んでいたが、単収321kg/10aで13.8tの収穫量となり、県内の養鶏事業者に12tと福井県畜産試験場の給餌試験用への供給を予定している。国産飼料の生産拡大への期待が高い。



【連携概要】

【輪作生産のメリット】

【拡大への課題】

(株) 徳長農園

- ・生産面積 4.3ha
- ・生産量 13.8t
- (単収 321kg/10a)

※うち給餌試験用へ供給 1.8t

養鶏農家

- ・供給量 12t
- ・鶏糞供給 10t

(生産指導等)
・福井県福井農林総合事務所
・JA福井県

- ①有機物のすき込みによる土壌改善と翌年の増収効果
- ②耕畜が連携した鶏糞たい肥散布による肥料コスト削減
- ③市場に左右されない安定した価格と取引で経営安定
- ④国産飼料の供給期待に寄与

- ①新たな供給先の確保(県外供給への運送費の課題)
- ②保管スペースの確保
- ③仕様に合わせた粉砕等の作業の省力化
- ④上記②③に対応した組織の設置

若手農業者の定着に向けた課題と将来展望

若狭地域

「若手農業者の定着に向けた課題と将来展望について」をテーマに、小浜市の福井県嶺南振興局において、現地密着型農政推進懇談会を開催(令和5年11月28日)

若狭地域の若手農業者団体“WakasaAgri21”のメンバー6名から、今後農業を続けていく上での課題などについて、関係者を交えて意見交換を行った(農業者のうち、5名は雇用就農、1名は独立就農)

【若手農業者からの主な意見等】

★独立就農について

- ・新規就農者に対する支援の要件が厳しく考えていない
- ・雇用就農は、会社には守られている感があり、このまま続ける
- ・農地を守るために独立就農したが、経営は厳しい
- ・今は研修中だが、いずれ独立したい

★今後の課題等

- ・水稻中心の経営を検討しているが、冬期間の収益確保が課題
- ・園芸作物に挑戦してみたが、獣害に遭い、継続していけない
- ・獣害対策は、耕作者で対策することが多く、農業に無関心な地権者が多い
- ・雇用就農して、技術面の実績はできたので、今後は経営にも携わっていききたい



農業・林業・漁業、その加工・販売に興味がある方や、これから始めたい方向けの情報を発信しています。

連絡先

北陸農政局 福井県拠点 地方参事官室

〒910-0859 福井市日之出3-14-15

T E L 0776-30-1611